

委員會議錄(筆記)第一回

委員會議錄(筆記速記)第一回

三郎君ノ外正木照藏君、板野友造君、南鼎三君、此三君ヲ指名致シマス、順序ト致シマシテ、政府提出ノ工場法中改正法律案カラ審議致シタイト思ヒマス

○正木委員 ソレハドウ云フ順序デゴザイマセウカ、早く出シタモノカラ先ニヤルノガ順序デナイカ

○鈴木委員長 是ハ政府案ヲ先ニスル慣例ニナツテ居リマス、工場法中改正法律案及工業労働者最低年齢法案、船員ノ最低年齢及健康證明書ニ關スル法律案、此三案ガ政府案デアリマス、是ハ工場法中改正法律案ニ引續イテ審議致シタイト思ヒマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○正木委員 ソレデハ質問ヲ致シマスルガ、實ハ只今此處ヘ參テ始メテ參考書ヲ受取ツタヤウナコトデゴザイマシシテ一向閱讀スル暇ガアリマセヌカラ、深ク條項ニ亙ツテ御尋スルノハ、マダ準備ガ出來テ居リマセヌケレドモ、大體ニ於テ此工場法ノ改正トカ、或ハ船員ニ關スル事トハ、皆労働會議ノ結果ニ由ルコト、承ツテ居リマス、就キマシテハ此條約ニ付テノ帝國ノ御批准ニ關スルコトハ、何處迄進ンデ居ルカト云フコトヲ承リタイ、ソレカラモウ一ツ諸外國ハ如何ニシテ居ルカ、是ハ本會デモ御尋シタ所ガ、逕信大臣ハ外務省ニ聞イテ呉レト云フコトデアッタ、此邊ノ事ヲ成ベク精シクテ御話ヲ願ヒタイ、私ノ申迄モナク此日支郵便條約ノ事ニ付テハ、ア、云フヤウナ紛擾ヲ生ジタト云フコトハ、餘リ政府トシテモ、國民トシテモ、體裁ノ好イ話デナイ、再ビア、云フ事ニナラヌヤウニ希望スル、ソレニ付キマシテハ只今此條約ニ關スル御批准ノ事ハ、ドウナツテ居ルカト云フコトヲ御説明ヲ願ヒタイ、此御説明ニ依ツテ尙ホ御尋ヲ致シマス

○山川政府委員 労働條約案ニ付キマシテハ、御承知ノ通りニ労働會議ガ今日迄四回開カレテ、サウシテ労働ニ關スル條約案ヲ議定シタノデアリマス、右條約案ハ對獨條約ノ規定ニ依リマシテ之ヲ作リマシテカラ、一年内——遅クモ十八箇月内ニ其國ノ權限アル機關ニ付議シテ、右機關デ採用スベシト云フコトニナツタモノハ之ヲ批准スルコトニナツテ居リマス、ソレデ第一回労働總會デ可決シマシタ條約案、ガ六ツアリマス、第二回デ可決シマシタノガ三ツアリマス、御レモ此條約案ハ對獨條約ノ規定ノ期間内ニ於テ樞密院ニ御諮詢ニナリマシテ、サウシテ第一回ノ方デハ、失業ニ關ス

ル條約案が樞密院ニ於テ採用スベモノト云フ決定ニナリマシ
タ、ソレデ御批准ニナツテ其旨既ニ通知シテアリマス、第二
回ノ分ニ付キマシテハ、海員ニ對スル職業紹介所設置ニ關
スル條約案が樞密院ノ議ヲ經マシテ、御批准ニナリマシタ、
其旨モ勞務事務局ノ方ニ通知シテアリマス、其以外ノ條約
案ニ付キマシテハ、マダ御批准ト云フ所ニナツテ居リマセ
ス、唯、第一回ノ勞働總會ニ於テ採用シタル、工業ニ使用シ
得ル兒童ノ最低年齢ヲ定ムル條約案、第二回ノ總會ニ於テ採
用シタル海上ニ使用シ得ル兒童ノ最低年齢ヲ定ムル條約案、
此二ツノモノハ、主義ニ於キマシテハ差支ナシト云フコト
ニナツテ居リマスガ、マダ御批准ト云フ程度ニハ進ンデ居
リマセス、ソレ以外ノ條約案ハ、今日日本ニ於テ直ニ條約案通
リ施行スルノハ、宜シクナシト云フ決定ニナツテ居リマス、
是ハ御批准ニナラヌト云フコトニナツテ居リマス、ソレカラ
第三回ノ勞働總會ニ於テ採擇サレタ條約案ハ、マダ對獨條
約ニ規定シテアリマス期間内ニ在リマス、右ノ期間ハ本年
ノ五月ノ末ニナリマス、ソレマデハ樞密院ニ御諮詢ニナ
ルコトニナリマス、第四回ノ勞働總會ニ於キマシテ採擇シ
マシタ條約案ニ付キマシテモ、矢張同様に關係デアリマス、
マダ政府デ審議中デアリマス、樞密院ニ御諮詢ニナル程度
ニ達シテ居リマセス

○正木委員 外國ノ事ハ……
○山川政府委員 外國デ此條約案ヲ批准シタ國ノ事ガ、今
日迄ノ調ヲ大體申上ゲマスレバ、外國ニ於キマシテモ尙ホ
澤山ノ國デハマダ批准ヲ致シテ居リマセス、或ハ此事柄ハ
表ニシテ差上ゲタ方ガ宜クナイカト思ヒマス、此處デ述ベ
テモ宜シウゴザイマスガ、大分ゴタ／＼シマスカラ……
○正木委員 表デモ宜シウゴザイマスガ、外國ト申シテモ、
各國ト云フ譯デハナイノデスカラ……
○山川政府委員 參考書類トシテ表ニシテ一部分差上ゲテ
アリマス、若シ必要ガアレバ、ズット大體申上ゲテモ宜シウ
ゴザイマス

○正木委員 主ナルモノダケ伺ヒタイ
○山川政府委員 第一回ノ總會ニ於テ採擇サレタル條約案
ニ付キマシテハ、全部批准シタノハ希臘ト羅馬、ソレカラ
勃牙リダケデアリマス、英吉利ハ失業問題、婦人ノ夜業禁止
兒童使用ノ最低年齢、年少者ノ夜業廢止、此四ツ條約案ヲ批
准シテ居リマス、ソレカラ伊太利デハ失業問題、産前産後
ノ婦人使用問題、年少者ノ夜業禁止問題、婦人ノ夜業禁止問
題此四ツノ條約案ニ付テ權限アル機關デ採擇ノコトヲ決定
致シマシタ、既ニ此四ツノ條約案ニ付キマシテハ批准ヲ致
シタ様デス、第二回ノ總會ニ於テ採擇シタモノニ付キマシ
テハ、英吉利ハ海上兒童使用最低年齢ニ關スル條約案ヲ批

准シテ居リマス、主ナル國トシテハ其位ナモノデス、第三回
ノハマダ批准シタ國ハ一箇國カ二箇國位デ極ク少數デアリ
マス、主ナル國ハマダ批准ノ所マデ行ッテ居ナイ様デス
○正木委員 短簡ニ御答ヲ願ヒタイノハ、只今此議案ニ載
テ居ル點デス、ソレヲ何處ノ國ト何處ノ國ガ批准シテ居
ルカト云フコトヲ承リタイ

○山川政府委員 今度政府カラ提出サレマシタ法案ニ關係
アルノハ、第一回第二回ニ先ツ全部關係ガアルト謂ッテモ
宜イ位デス、唯、時間制等ニ付キマシテハ、日本ノ國情ニ合
フヤウニ規定ヲ設ケテアリマスカラ、條約案ノ趣旨ト必シ
モ一樣ニハナツテ居リマセス、條約案ト同ジ様ニナツテ居
ルノハ工業勞働者ノ最低年齢、ソレカラ海上ニ使用シ得ル兒
童ノ最低年齢ヲ定ムル條約案、是ダケト記憶シテ居リマス、
ソレダケニ付マシテハ、兒童ノ最低年齢ノ方ハ希臘、羅馬
尼英吉利「チエックス」ローウアキ「勃牙リ」、瑞西、ソレカラ
丁抹ハ權限アル機關デ既ニ可決シテ居リマスカラ、批准ノ
事ニナルデアラウト思ヒマス、ソレカラ芬蘭ガサウデス、ソ
レカラ海上ニ使用シ得ル兒童ノ最低年齢ノ關係デアリマス
ガ、之ヲ批准致シマシタノハ英吉利、瑞典、ソレカラ羅馬、
和蘭、ソレカラ「チエックス」ローウアキ「モ」批准ノ意思ヲ發
表シテ居リマス、芬蘭モ權限アル機關デ批准スルト云フ決
議ヲシテ居リマス

○正木委員 ソレ等ハ既ニ批准濟ノ國ハ決行シテ居リマス
カ
○山川政府委員 批准濟ノ國ハ實行シテ居リマス
○正木委員 只今ノ御説明ニ依ルト、前ノ勞働會議デモ御
批准ニナラナイト云フノカ、或ハ御批准ヲ請ハナカッタト云
フノカ、サウ云フヤウナ御説明デアリマシタガ、ソコデ今法
律ノ骨子ニナツテ居ル條約案ノ中ニ、未ダ御批准ニナツテ居
ラスモノガアル、御批准ニナツテ居ラスモノニ對シテ、先以
テ此法律ヲ拵ヘルト云フコトハ、或ハ穩當ヲ缺クト云フヤ
ウナ御考ハナイカ、ソレハ私ガ先刻申シタヤウニ樞密院デ
大分御議論ガアッタト云フコトデアリマスガ、又ア、云フ事
ニナルト、又樞密院ヘ持ッテ行ッテ諮詢サレタ時分ニ、既ニ法
律ヲ拵ヘテヤツテ居ルト云フコトデアルト、今度ハ吾々協賛
シタ者モ共ニ責任ヲ分クナケレバナラス、斯ウ云フ事ニナ
リマスカラ、此事ニ付テ明白ナ吾々ニ安心ヲ與ヘルダケノ
御説明ヲ願ヒタイ

○山川政府委員 條約ト法律トノ關係ニ付テハ色々アリマ
スガ、條約案ノ事柄ニ付キマシテハ、之ヲ批准セラル、方
ガ都合ガ好イト考ヘルモノニ付テハ、既ニ之ヲ實行スル上
ニ於テノ運用ノ圓滑ヲ期スル爲ニ、法律ヲ豫メ出サレマシ
テ、サウシテ後批准ト云フ手續ニナツタノガアルノデス、例ヘ

バ第一回ノ勞働總會ニ於テ採擇サレタ中ニ、失業ニ關スル
條約案ヲ御批准ニナリマシタ、併シ此失業ニ關スル問題
ニ付キマシテハ、豫メ帝國議會ニ法律案ヲ出シテ、其法律
ガ出來上ツタ後ニ御批准ニナツテ居ル、ソレカラ第二回ノ
海員ニ對スル職業紹介所設置ニ關スル條約案ニ付テモ、
御批准ハ……昨デアリマス帝國議會ニ法律案ヲ出サレ
マシテ、サウシテ其通過ノアツタ後ニ條約案ヲ御批准ニナ
ツタ、ソレデ今回モ其先例ヲ越ヒマシテ御批准ヲ必要トスル
モノハ、豫メ先ツ法律案ヲ出シマシテ、法律案ノ通過ノ後ニ
御批准ヲ仰グト云フコトニナルノデアリマス、一向是ハ議
論問題モナイ、既ニ先例ガサウ云フ風ニナツテ居リマス

○正木委員 只今ノ説明ヲ承リマスレバ、日支郵便條約ニ
付テ樞密院ニ於テ彼是レ云フ理窟ハ無イヤウニ思ヒマス、
又今御示シマシタ事ノ如キハ、チヤント法律ヲ拵ヘテ効力
ヲ生ズル、斯ウ云フコトヲ決メテ置イテ、サウシテ後カラ御
批准ヲ願フニ付テハ、矢張樞密院ニ諮詢サレタト云フコト
ニナツテ居ル、サウシテ其時分ニ別ニ樞密院ハヤカマシク言
ハナカッタ、今度日支郵便條約ニ付テ効力ガ生ジテ居ルト
カ生ジテ居ラヌトカ云フコトニ付テ、ドウモ議論ガ出ルヤ
ウニ思ハヌ、此邊ニ付テドウ云フ御見解デアリマスガ
○山川政府委員 條約案ニ付テハ、豫メ國內法ヲ制定サレ
テ、其後條約ノ御批准ヲ仰グト云フコトニ付テハ、一向差
支ナイト思ヒマス、詰リ前ニ國內法トシテ出サレタモノハ、
是ハ何條約案ニ關係ガナクテ、國內法トシテ効力ヲ以テ居ル、
是ハ何時デモ國內ノ都合ニ依ッテハ改廢ガ出來ル條約關
係ナク國內法トシテ一方ニ効力ヲ持ッテ居ル、其上ニ條約ヲ
批准サレマス、條約ノ關係カラシテ國內法ヲ直ニ變ヘヤ
ウト思ッテモ、批准サレタ條約ガアリマスレバ、其條約ノ規
定ニ違反シタ事柄ハ出來ナイノデアリマス、ソレデ日支郵
便ノ問題ヲ御引用ニナリマシタケレドモ、是トハ全然別問
題デアリマス條約案ノ内容ヲ國內法トシテ制定サレマシ
テモ、ソレハ國內法ダケノ力ヲ持ッテ居ルノデアリマス、其後
ニ更ニ其條約ヲ批准サレマス、今度ハ條約トシテノ効力ガ
出テ來ル譯デア

○正木委員 私ハ法律家デゴザイマセヌカラ、詳シイ事ハ
知リマセヌガ、サウ致シマス、若シ御批准ヲ願フ時ニ、樞
密院ニ御諮詢ナリ、樞密院ニ何カ疑問ガアツテ是デバ困ル、
此條項ハ何トカシナケレバナラス、斯ウ云フコトニナツテ、
自然ニ骨子ガ狂フト云フコトニナツタ、國內法ヲ改正シナ
ケレバナラス、ト云フコトニナルノデスカ、改正スルト云フ
御考デアリマスガ

○山川政府委員 國內法ハ國內法トシテ効力ヲ持ッテ居ル、
今假ニ御引例ニナリマシタヤウニ國內法ト條約ノ規定トガ

若シシ喰ヒ違フ事ガアルトスル、假ニサウ云フ例ヲ想像シテ見マシテ、其時ニ若シ國內法ト違フテ居ルコト云フコトデアレバ、或ハ條約ハ御批准ニナラヌ、條約ハ御批准ニナラナクテモ、國內法ハ國內法トシテ生キテ居ル

○正木委員 國內法ト違フ條約ヲ御批准ニナラヌ、斯ウ云フコトニナリマス。カ只今議會ニ於テ議決シテ此法律ヲ拵ヘタ即チ國內法ガ出來テ居テソレト條約ト違フテ居レバ、其條約ハ御批准ニナラヌ、斯ウ云フコトニナルノデスカ

○山川政府委員 詰リ國內法ヲ其儘實行シテ行ク、條約ノ規定ト違フ國內法ガ假ニアルトシテ、ソレヲ變更セズニ其儘實行シテ行クコト云フコトニナリマス。レバ、條約案ノ御批准ヲ奏請スルト云フコトハ、政府トシテハソレハ出來ナイコトニナル、私ハ其方宜カラウト思ヒマス、併シ條約ヲ——國內法ノ規定如何ニ拘ラズ條約ヲ御批准ニナルト云フコトヲ奏請スルヤウニナリマス。レバ、是ハ日本ノ國內ニ於テ、從來ノ慣例ニ於テ條約ト法律トノ効力問題ニナル、ドチラガ勝ツカ、今日本デハ條約ヲ公布サレマス。レバ、即チソレガ法律ト同ジ効力ヲ持ツ、ソレデ條約ヲ御批准ニナルト公布ニナレバ、ソレト違フ國內法ガアルト、其程度ニ於テハ國內法ノ法律ガ變更サレタコト云フヤウナ解釋ニナツテ居リマス、其例ハ從來モ幾ラモアリマス、併シ此勞働條約案ニ付テハ、條約案ヲ批准スルニ付テ必要ナル國內法規ヲ豫メ作ルコト云フ先例ニナツテ居リマス、ソレデ此法律ガ條約案ト低觸スルト云フコトハ、無論ナイモノトシテ作ツテアリマス、今ノヤウニ衝突スルト云フ場合ハ、此點ニ付テハ起リナイ譯デアル、萬一政府ノ案ガ出テ居リマシテ、之ヲ國內ノ事情ニ應ジ照ラシテ、是デハ其合ガ惡イカラシテ、之ヲ斯ウ云フ風ニ變ヘナクチヤナラヌト云フヤウニ、或ハ變更ニ衝ナツタコト云フ場合ニハ、衝突ト云フ問題ガ起ルカモ知レヌガ、其時ニハ此條約案ニ付テ、既ニ條約案ノ趣意ニ依ツタ法律案ガ變更セラレマス。レバ、其時ニハ條約案ノ御批准ヲ奏請シナイ方ガ適當デアラウ、サウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○正木委員 斯ウ云フヤウニ承ツテ見マス、餘程六ヶシイ問題ニナツテ、吾々ハ法律ヲ規定スルニ付テ、先ツ條約案ニ低觸セヌヤウニナラナクテバ、ナラヌ、若シ低觸スルヤウナコトニ變更致シマス、他日政府トシテハ條約案ノ御批准ヲ奏請スル譯ニ行カナイ、樞密院ニモ諮詢スル譯ニ行カナイ、其時分ニハ共ニ相談致シマシテ、帝國カラモウ全權ガ澤山御出デニナツテ御打合セニナツタコトニ付テ、信ヲ失フト云フコトニナリハシマセヌカ

○山川政府委員 前段ノ方ハ今御話ノ通りデアリマス、今政府カラ提出シタ此案ニ付テハ、條約案ノ規定ト低觸シタ矛盾シタ點ハナイノデアリマス、併ナガラ國內ノ事情ニ應

ジテ照シテ、ドウモ是ハ其合ガ惡イト云フノデ、變更スルト云フコトニナリマス。レバ、先程申シマシタ通り、此條約案ノ御批准ハ奏請シナイ方ガ適當ト云フコトニナルノデアリマス、ソレデ勞働ニ關スル條約案ノ事ニ付テハ、普通ノ條約ト狀ヲ持ツテ談判ヲシテ、政府訓令ニ依ツテ行動スルノデアリマス、ソレデ普通ノ條約ナラバ、一旦出來上ツタ後ニソレヲ批准シナイト云フコトニナリマス。レバ、今御話ノ通りニ國實際上ニ於テ信用ヲ失フト云フコトモ出テ來ルデアラウト思ヒマス、此條約案ニ付テハ、御承知ノ通りニ普通ノ條約ヲ制定スル場合ト、——締結スル場合ト大變違フテ居ル、勞働總會ニ對シテハ、各國カラ政府委員ガ二名、民間ノ資本家ヲ代表スル者ガ一名、勞働者ヲ代表スル者ガ一名、四名ノ代表者ガ各國カラ出テ來ル、サウシテ其四名ノ代表者ハ自分ノ自由意思ニ依ツテ意見ヲ表明スルコトガ出來ル、必シモ政府ノ訓令ニ依ツテ行動スルノデアリマセヌ、殊ニ民間ノ資本家ヲ代表スル者、勞働者ヲ代表スル者、是等ハ自分ノ考デ政府ノ意見ニ關係ナク意見ヲ表明スルコトガ出來ル、サウ云フ風ナ組織ニナツテ居リマシテ、サウシテ條約案ハ總會ニ出席シタ總會ノ代表員ノ三分ノ二ノ多數デ之ヲ可決スルノデアリマス、總會ニ於テ採擇スルノデアリマス、ソレデ普通ノ條約ナラバ、必ズ其所ニ參加シマシタ總會ノ者ガ同意シナケレバ成立マセヌガ、勞働條約案ニ對シテハ特別ノ規定ガアリマシテ、三分ノ二ノ多數デ採擇ガ出來ル、併シソレデハ各國ヲ拘束スル譯ニ行カヌカラ、更ニ各國ノ權威アル機關ニ付議シテ、ソレデ差支ナイト云フコトニナレバ、始メテ批准ト云フコトニナル、ソレデ勞働ニ關スル條約案ガ出來上リマシテモ、ソレヲ批准シナイカラト云フテ、必シモ國際間ノ信用ヲ失フト云フヤウナ關係ニハナツテ居リマセヌ、普通ノ條約トハ大變違フテ居リマス

○正木委員 サウ致シマス、吾々ガ此案ヲ議スルニ付キマシテ、別ニ條約案ニ重キヲ置カナイデモ宜イ、勝手ニ國內ノ事情ニ應ジテ修正シテモ宜イト云フコトニナリマス。カ

○山川政府委員 實ハサウ云フコトニナリ得ルデアリマセウ、併シ政府トシテハ是ガ最モ國內ノ事情ニ適シ、之ヲ施行スルコトガ適當デアルト云フノデ提出シタノデアリマス、又成ベク國內ノ事情ニ照シテ差支ナイ條約案先程申上デタヤウナ特別ノ關係ハアリマスケレドモ、之ヲ批准スルコトガ適當デアルト認メテ居リマス、ソレデ成ベク條約案ノ規定ニ低觸シナイヤウニシテ之ヲ施行シタイト云フ希望ヲ持ツテ居リマス

○正木委員 政府ノ御都合ハ或ハソウカモ知レマセヌガ、吾々トシテハ是ガ果シテ善イカ惡イカト云フコトヲ何所マ

デモ審議シナケレバナラヌ、ソレニ就テ政府ノ希望ハ云々ト云フコトデアリマス。ガ、モウ少シハキリ承ツテ置キタイ、吾々ガ勝手ニ之ヲ變更シ、條約案ト矛盾シタ決議ヲシヤウトモ無論只今ノ御説明ニ依ルト差支ナイモノト考ヘル、ソレデ宜シイカ、モウ少シ明白……

○山川政府委員 是ハ國內法トシテ提出シタモノデアリマス、無論其根據ハ條約案ニ置イテアルノデアリマス、併シ議會ニ於テ適當ト思ハレル點ニ付テ修正ヲ加ヘラレルコトハ差支ナイ、唯、政府ノ希望トシテハ、成ベク此條約ヲ批准シタイ希望ヲ持ツテアル、條約ノ規定ニ矛盾シナイヤウニヤツテ行キタイト云フ考デアリマス

○正木委員 サウ致シマス、ソレハ政府ノ希望ニ止ツテ、若シ吾々ガ議會ニ於テ修正ヲ加ヘテ、條約ト違フ條文ガ成立ツ場合ニハ、條約ノ御批准ヲ願ハヌ、斯ウ云フコトニナルノデスカ、其爲ニ各國ニ對シテ信ヲ失フコトハナイ、斯ウ云フコトニナルノデスカ

○山川政府委員 大體御話ノ通りデアリマス、是ハ國內法デアリマス。カラ、帝國議會ガ適當ト思フ修正ヲ加ヘラレルコトハ、何等差支アリマセヌ

○正木委員 ソレニ付テ今度實行ノ上カラ御尋致シマスガ、サウ云フヤウナ工合デ、何レニシタ所ガ是ハ條約ト密接ナ關係ヲ持ツテ居ルノデアリマス。カラ、御批准ニナツタ後ニ御出シニナツタラドウデスカ、サウ早ク先キニ此國內法ヲ今日ヤランナラヌト云フ必要ハナイト思ヒマス、施行スル時日モ定メテナイヤウナコトデアル、御批准後ニ法律ヲ出スコトハイカヌノデスカ、先キニ之ヲヤラヌナラヌノハドウ云フ譯デスカ

○山川政府委員 只今ノ點ハ、今マデ條約案ヲ取扱ヒマシタ前例ニ依ツテ致シタノデアリマス、ソレデ國內法ノ關係ニ於キマシテ、運用ノ圓滑ヲ期スル爲ニ、豫メ必要アルモノハ法律案ヲ提出致シマシテ、ソレガ制定ニナリマシタ所デ條約案ヲ御批准ニナルト云フコトニヤツテ居リマス、ソレデ條約案ト法律トノ關係ハ、先程申上ゲタ通りニ、條約トシテ御批准ニナリ、ソレヲ國內ニ公布致シマス。レバ、ソレハ法律ト同ジ効力ヲ持ツト云フコトニ從來政府ノ解釋ハナツテ居リマス、ソレデ條約案ヲ御批准ニナツテシマヘバ、法律ハ無クテモ宜イ、併シ斯ウ云フ特別ノモノデアリマス。カラ、豫メ國內法ノ制定ヲ見タ上デ、後デ條約案ノ批准ヲ願フト云フヤウニ從來ノ先例ガナツテ居リマス、ソレデ今日モ先例ニ依ツテ法律案ヲ先キニ出シタノデアリマス

○正木委員 法律案ヲ出スコトハ、實行ヲ急グト云フコトニナル、其實行ヲ急グノハドウ云フ都合デスカ、ソレヲ伺ヒタイ

カ、昨年及其前ノ議會ニ於テモ、勞働組合法、或ハ勞働爭議法、其他ニ付テ政府ハ調査中デアルカラ、近ク施行スル意思ヲ持テ居ルト云フ御辯明ヲ伺ツテ居リマシタガ、ソレデ吾々ハ自ラ提案スルコトヲ差控ヘテ居リマシタ、今日ノ議會ニ於テモ政府トシテハ只今御出シニナツテ居ルノヲ除クト御提出ガ無イノデアリマスガ、是ハ近ク御提案ニナル御意思ヲデアルカ、申マデモナク要スルニ勞働時間、或ハ工場設備、勞働者ノ年齢等ニ付テハ、工場法及ソレニ關聯スル取締ハ出來ルケレドモ、勞働ノ點——主トシテ勞働者ノ最重要視スル勞銀ノ點ニ付テハ、勞働者ノ自主的行動ニ待ツ外ナイノデアリマス、之ニ對スル規定ハ勞働組合法、或ハ爭議法ニ依ツテ決定スル外ナイト思ヒマスガ、此點ニ付テ政府ノ御考ハドノ邊マデニ達シテ居ルカ、現ニ安達君其他カラ勞働組合法ガ御提出ニナツテ居リマスカラ、是等ヲ審議スル上カラ致シマシテモ、又只今審議中ノ勞働組合法ヲ審議スル上カラ言ツテモ、此點ハ伺ツテ置カナケレバナラヌト思ヒマスカラ、伺ツテ置ク次第デアリマス

○河原田政府委員　其他ノ勞働法規ニ付キマシテハ、實ハ引續テ政究調査中デアリマス、此點ハドウ云フ風ナ法規

ヲ作り、又下ウ云フ風ニ秩序ヲ立テ行ツタ宜イカト云フコトニ付テハ、苦心ヲ要スル次第デアリマシテ、御承知ノ通り、將來政府部内ニ於テモ各方面ニ色々ナ案モアリマスル次第デアリマシテ、昨年十一月ニ是等ノ労働問題或ハ社會問題ヲ統一シテ之ヲ研究調査シ、又徐々ト實行ノ方面ニ向フコト云フ目的ノ爲ニ、特別ノ機關トシテ社會局ト云フヤウナモノガ出来マシテ、是等ニ於キマシテ十分研究ヲ加ヘテ行カウト云フヤウナ段取りニナツテ居リマス唯、一ツソレガ出来上リマシテ最近ニ提案ノ運びニナルカト云フコトハ、只今困難ナ事情ガアラウト思ヒマスガ、怠ラズ研究致シテ居リマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス

○土屋委員 要スルニ政府ハ是等ノ點ニ付テ十分ニ御研究ニナツテ、近ク御提案ニナラウト云フ御意思ヲ持ツテ居ルダラウト思ヒマスガ、私共尙ホ是等ノ法案ニ付キマシテハ、色色伺フテ見タイト思ウテ居リマスガ、本日ハ時間モ無イコトデアリマスカラ、今日ハ此程度ニ止メラレンコトヲ希望致シマス

○中原委員 工業労働者ノ年齢ニ付テ先刻カラ御話ガアリマシタガ、第二條ニ「十四歳未満ノ者ハ工業ニ之ヲ使用スルコトヲ得ス但シ十二歳以上ノ者ニシテ尋常小學校ノ教科ヲ修了シタルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス」トアリマス、是ハ先刻來御話ノ如ク、國情ニ依リ、又産業振興ノ上ヨリ、労働會議ノ議決ニ依ラズシテ、特別ノ事情ニ依ッテ斯ノ如ク御決定ニナツテ御提案ノコト、存ジマスガ、此工業ニ對シマシテハ、特ニ保健衛生ト云フコトガ必要ナル事項デアリマシテ、此點ニ向ッテ深く考慮ヲ須キナケレバナラヌト確信致シマス、然ルニ十四歳未満ノ者ハ工業ニ之ヲ使用スルコトヲ得ズト云フコトハ、私一個トシテハ差支ナイト思ヒマスガ、但シ十二歳以上ノ者云々ト云フコトニ付テハ、宜クナイト思ヒマス、保健衛生上宜クナイト思ヒマス、ソレカラマダ是ハ確定ハシテ居リマセヌケレドモ、義務教育ノ延長ト云フコトニナルト、十二歳以上ノ者ハ尋常小學校ヲ卒業スルコトハ絶對ニ無クナルコトニナルカラ、サウ云フ場合ニ於キマシテハ、更ニ又法律ノ改正ヲシナケレバナラヌ、或ハ又折角改正シテモ無効ニナルト思ヒマスガ、是ハ私ノ考トシテハ此「但シ」以下ハ保健衛生上削除シタ方宜イト思ヒマスガ、政府ハ如何ナル御考デアルカ伺ヒタイ、ソレカラ是ハ改正案ノ中ニ明文ガ無イヤウデアリマスガ、此幼年者等ニ對シ職務ニ從事シテ居ル間ノ休憩時間、休養時間ハアリマスケレドモ、例ヘバ近頃噸米ニ於テ盛ニナリマシタガ、飛行機ノ製造工場、斯ウ云フ所ニ於テハ、多クノ材料及毒物等ヲ使用スルコトニナツテ居リマスガ、是ハ未成年者以上一般ノ職工ニ對シテモ、特別ノ休養時間ヲ與ヘルト云フコトガ必要デハア

ルマイカト思ヒマス、勿論特ニ有毒ナル物或ハ危險物ニ對スル豫防ハ十分デアルトシテモ、斯ノ如キ工場ニ働カス職工ニ對シテハ、特ニ休養時間ヲ澤山ニ與ヘル必要ガアルト思ヒマス、斯ウ云フ點ニ付テモ御考慮ニナツテ居リマスガ、ソレカラ工場法ノ第十二條ノ產婦ノ問題デアリマス「產前產後若ハ生兒哺育中」云々トアリマスガ、之ニ對シテハ特ニ主務大臣カラ命ズルト云フヤウナ規定ガアリマス、主務大臣カラ特別ノ規定ヲ以テ限定サレルト云フコトデアリマスガ、政府ニ於テハ凡ソドノ位ナ程度ニ於テ產前產後若ハ生兒ノ哺育中ノ女子ニ對シテ、ドノ位ノ期間ヲ御使用ニナリマスガ

○河原田政府委員 工業労働者最低年齢法中ノ第二條ノ但書ヲ削除シテハドウカト云フ御意見デアリマスガ、保健衛生ノ上カラ申セバ御尤ノ點ト存ジマスガ、一面産業其他ノ方面カラ考ヘテ、急激ナ變化ヲ起スト云フコトハ如何カト存ジマスルシ、又一面ニ於テハサウ云フ方面ノ者ノ就職ト云フコトモ考ヘナケレバナラヌノデ、所謂生計問題モ考ヘナケレバナリマセヌノデ、將來社會施設等モ十分進ミマシタ晩ニハ、サウ云フ子供ノ保護ト云フコトモ十分行届キマセウシ、其點ニ付キマシテハ心配モ無クナルカモ知レマセヌケレドモ、今日ニ於キマシテハ、一面ニ於テ只今申上ゲマシタヤウナ折角事業ニ從事シテ居ル子供ノ失業ト云フヤウナ事モ考ヘナケレバナラヌ次第デアリマスカラ、今日ハ斯ウ云フ例外規定ヲ設ケルコトハ、日本ノ現狀ニ於キマシテ已ムヲ得ナイコト、存ジマス、此點ハ尙ホ此條約案ハ保健問題以外ニ於キマシテ、教育問題ト云フコトヲ含ンデ居ル次第デアリマシテ、即チ子供ニハ出来ルダケ最低ノ教育ハ受ケサセナケレバナラヌデハナイカト云フ精神カラ出テ居リマスノデ、一面日本ニ於キマシテハ、今日マダ六箇年ノ教育年限ガアリマスルカラ、十二歳若クハ十三歳迄卒業スルト、斯ウ云フ風ナ事ニ相成テ居リマス、從テ十四歳以下ノ者ハ全然使ッテハナラヌ、仕事ニ從事シテハナラヌト云フコトニ致シマス、折角學校ヲ卒業シテモ、十四歳ニナルマデハブラ／＼遊ンデ居ラナケレバナラヌ、是ハ十分社會施設ノ出来タ晩ナラバ兎モ角、サモナケレバ却チ子供ノ爲ニ好イ影響ヲ與ヘナイ、所謂小人閑居シテ不善ヲ爲ス式ノ不良ノ性質ヲ與ヘルヤウナ影響ガアッテハイカヌト云フヤウナコトモ考慮致シマシテ、學校ヲ出デタ者ハ使ッテ宜イト云フヤウナ例外規定ヲ設ケタヤウナ次第デアリマス、是等ハ今日ノ事情ニ於キマシテ已ムヲ得ナイコトト實ハ考ヘルノデアリマス、將來義務教育ガ延長デモ致サレマシタナラバ、段々ト理想ニ近付ケルノデハナイカト考ヘルノデアリマス、ソレカラ第二ノ有害工場ニ於ケル青年工ノ休

憩時間、是ハ労働時間等ノ問題デアリマスガ、是ハ御承知ノ通り保護職工ニ付キマシテハ各種ノ規定ガゴザイマスガ、元來此工場法ハ——日本ノ現行工場法ハ、主トシテ労働時間其他ノ點ニ付キマシテハ、保護職工ノ時間バカリ規定サレテアリマスノデ、青年工ニ付キマシテハ、餘リ干涉ヲシナイト云フヤウナ立前ニ出来テ居リマス、此趣旨ハ色々ゴザイマセウガ、先ヅ青年工以上ニナリマスレバ、十分ニ自治的ノ考ヲ以テ相當ナ要求ナリ、又協議モ出来ルト云フヤウナ精神モ含マレテ居ルヤウニ認メルノデアリマスガ、併シ事柄自體ニ付テハ、ソレ等ノ點ハ誠ニ御意見ノ點ハ結構ナ次第ト存ジマスルガ、實際問題ト致シマスルト云フト、ドウ云フ工場ニハドウ云フ風ナ、又ドウ云フ仕事ニハドウ云フ風ナ休憩時間ヲ設ケナケレバナラヌトカ、或ハ労働時間ハドウ位トカ云フヤウナ事ニ付キマシテハ、大分色々複雑シテ居リマスノデ、慎重ナ研究ヲ遂ゲナケレバナラヌカト考ヘテ居リマスノデ、是等ノ點ニ付キマシテハ、將來十分研究ヲ遂ゲタイト思ッテ居リマス、ソレカラ產前產後及生兒哺育中ノ者ノ保護規定デゴザイマスガ、是ハ現行施行令ニ於キマシテ、產婦ハ產後五週間ト云フ事ニナツテ居リマス、併シ若シ差支ナイト云フ事デアラナラバ、三週間マデハ短縮出来ルト云フヤウナ事ニナツテ居リマス、ソレカラ、一面第一回ノ労働總會ニ於ケル條約案ニ於キマシテハ、產前產後六週間ト云フヤウナ標準ニナツテ居リマス、併シ此點ハ餘程外國トハ事情ヲ異ニ致シマス、又一面昨年法律ガ出来マシテ、近キ將來ニ於テ實施ニ相成リマス健康保險トノ關係ニ於キマシテ、矢張產婦ハ健康保險工場ノ保護ヲ受ケルコトニナツテ居リマスカラ、其方デドノ位ノ期間ガ適當デアラカト云フヤウナ事モ、ソチラノ方面ト併セテ研究ヲ遂ゲナケレバナラヌカト考ヘテ居リマス、隨テ最長六週間、マア三週間位ノ程度デドウカト云フコトモ考ヘテ居リマスガ、是ハハマダ確タル考ハ無イノデ、此點ニ付テハ十分ニ研究ヲ遂ゲテ施行令ニ現ハシタイト、斯ウ云フ積リデアリマス、ソレカラ生兒哺育中ノ子供ニ付キマシテハ、是ハ労働會議條約案ハ、一日二回、一回少クモ三十分ノ哺乳時間ヲ與ヘロト、斯ウ云フ事ニナツテ居リマス、此點ハ大體ニ於テ差支ナイコト、考ヘマスルノデ、先ヅ條約案ノ趣旨ヲ探ッテ施行規定ニ設ケテ行キタイト考ヘテ居リマス、其期間モ先ヅドウ位ガ宜イカト云フコトニ付テ、篤ト研究ヲ遂ゲナケレバナラヌガ、先ヅ一年以内ノ程度デ宜イノデハナイカト只今ノ所デハ考ヘテ居リマスガ、併シ是等ノ點ハ產前產後及生兒哺育中ノ者ニ付キマシテハ、尙ホ篤ト調査研究ヲ遂ゲタイト考ヘテ居リマス

○鈴木委員長 尙ホ貴方ノ質問ハ此次ニ保留シテ宜シウ
ゴザイマス
○中原委員 ソレデハ左様ニ致シマス
○鈴木委員長 本日ハ之ニテ散會致シマス
午後零時十一分散會